

中学校部活動地域展開への提言

令和 7 年 9 月の新潟県柔道連盟理事会の場で、以下のシステムについて、普及委員会より提案を行いました。各自治体での地域展開事業と合わせて、柔道連盟所属団体におかれましては、システムの構築にご協力いただき、中学校部活動地域展開への一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

※ジュニア優先枠（平日 17：00～19：00）での活動が可能な団体は、この限りではありません。

持続可能なシステムの提案

平日 各団体での練習

頻 度	週 2～3 回程度 1 回 2 時間程度	社会体育枠での夜間の時間帯。
会 場	各団体の練習会場。	
人 数	数名から数十名を想定。	
練習内容	人数が少ない場合は、「技術練習・打ち込み・反復練習・補強運動」を中心に行う。	
主な役割	近隣で柔道をやりたい生徒の受け皿。	

+

休日 拠点での練習

頻 度	週 1 回程度	土曜日又は日曜日及び祝日	1 回 3 時間程度	昼間の時間帯。
会 場	各団体の練習会場のうち 2 面程度以上の練習会場 受け入れ可能な高等学校柔道場			
人 数	数十名以上を想定。			
練習内容	乱取り練習・試合練習・熟練指導者による技術講習会を中心に行う。			
主な役割	少人数の団体の練習の補完、及び団体戦での試合出場。（出場の可否は大会規程による）			

=

- ・ 平日 週 2～3 回程度（2 時間程度）
- ・ 休日 週 1 回程度（3 時間程度）

※平日は所属団体の稽古がない日に他団体の練習への出稽古（引率責任者が必要）が可能となれば「週 5 回程度の練習が可能」となる。各団体で可能な範囲で連携を行い、交流を深めていただけるとありがたい。別紙、受け入れ団体一覧表をご参照ください。